きらり下之郷

No.7
令和6年(2024)
6月15日

先祖から受け継いだ美田を守り、
時代の変化に対応できる
強い農業の創造と開発を目指す

2024.5.11苗箱洗い

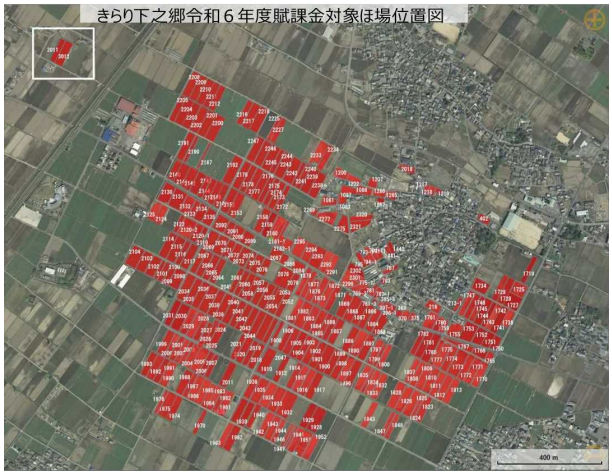
ご挨拶

農事組合法人きらり下之郷
代表理事　阪東佐智男

みなさんこんにちは。6月に入り集落周辺ではみどり一色の風景となり夜には「ほたる」の淡い光が飛び交う幻想的な季節となりました。日頃は農事組合法人きらり下之郷の運営に集落ぐるみで格段のお力添えをいただきありがとうございます。今年も集落の皆様に募集をしましたところ約60名程度のみなさまから何らかの労務をお手伝いいただくこととなりました。私共の法人は2号法人として設立し組合員や集落のみなさまの力をもって事業計画に基づき運営を行う事業形態です。きらり下之郷に預けたら関係ないのではなく多くの仕事から可能な仕事により多くの人に参画していただき未来に向かって持続可能な組織体に築いていくため更に努力が必要と考えます。区民のみなさまの多くの意見も重要と思っていますのでよろしくご指導の程よろしくお願いいたします。

「きらり下之郷」の今とこれから

令和6年度の受託経営面積



令和6年度、きらりが受託する農地の総面積は昨年度の758反から更に増え、855反となり、下之郷区全体の農地の77.1%を集積するという状況になりました。

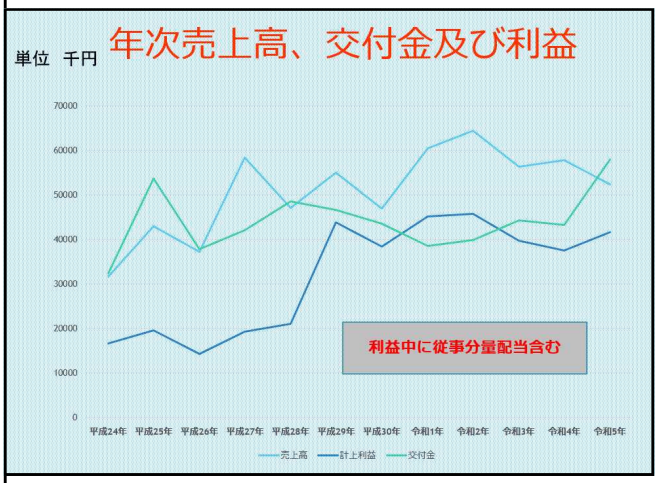
一方、離農者は年々増え、かつて150戸以上あった農家戸数は令和6年現在、わずか20戸にまで減少してしまいました。

作業スタッフ登録者

今年度、新たに作業スタッフとして登録された方が増え、4月1日現在の登録者数は60名になりました。

上野昭彦　上野邦子　上野忍　上野清治　上野信男　上野正人　上野正美　上野芳樹　川並重一
川並政司　川並守也　川並泰廣　嶋路善久　北村道俊　宿谷安弘　高井健一　辻喜代子　辻忠弘
辻敏男　辻利郎　辻智昭　寺居勇人　時永武　二階堂庄次　二階堂正雄　西堀新八　西堀與一
西山實　阪東佐智男　阪東幸子　阪東祥子　阪東静江　阪東隆　阪東辰憲　阪東宗　阪東猶眞
阪東正隆　阪東靖彦　阪東幸則　阪東陽子　卞永南　藤居喜三郎　藤居吉也　藤居清一
藤居桂三　古川悟　古川多代子　古川昇　古川洋　松原進　松原優子　松宮昭男　松宮勲
松宮源右ェ門　松宮利治　松宮直美　安澤貞次　安澤廣司　安澤浩武　若松嘉一

きらりの収支状況の推移



令和5年度は、酷暑で水稲の収穫が大きく落ち込む一方、肥料代の高騰、機械修理費等で一昨年度に比べて減収となりましたが、幸い、経営を揺るがすような欠損には至りませんでした。

左図のグラフのとおり、この10年間、全体としては安定的な経営水準が維持できているといえます。

しかし、その収支を支える中心は国からの各種奨励金・交付金です。湖東地域ではトップレベルの大圃場を有する「きらり」には令和6年度、約4900万円もの奨励金・交付金が入る見込みです。こうした国からの助成があって「きらり」の経営が維持できている」という状況だということをお知りおきください。

2024年（令和6年）4月25日（木）　第3種郵便物認可

「消滅」高島市・甲良町

竜王町と多賀町は脱却

有識者でつくる「人口戦略会議」（議長＝三村明夫・日本製鉄名誉会長）が24日に公表した分析結果で、人口減少の結果として「消滅する可能性がある」とされた自治体は、県内では高島市と甲良町の2市町だった。20～30代女性の人口動向に基づいた分析で、全国では約4割の自治体が消滅可能性があるとされた。大津市を含め県内14市町が自然減・社会減の両方の対策が求められるとしている。

人口戦略会議分析

同会議は、若年女性人口の減少率が2020～50年に50％以上となる自治体は出生数が低下し続け、最終的には消滅する可能性が高いと推測し、「消滅可能性自治体」とした。10年前の同様の分析では、県内では竜王町、甲良町、多賀町の3町が該当するとされた。今回の分析では、高島市

「きらり」も消滅……？

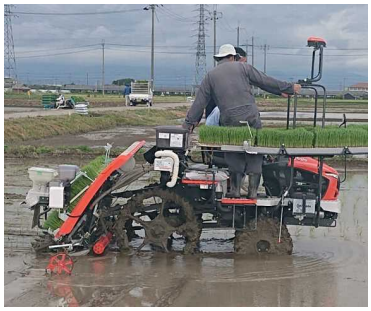
4月25日付の新聞各紙は「人口戦略会議」の分析結果データを報道し、2050年までに消滅する町として、甲良町をあげました。

少子高齢化の最も直接的なダメージは農業に現れます。「きらり」の受託面積はほぼ限界、その経営を支える人材の主力は70代。このまま行けば、10年を待たずに「きらり」の経営は破綻します。現に、近隣のX営農組合では、現役の人たちの高齢化と引退の一方、それを上回る補充ができず、経営が破綻寸前で県にSOSを求めている状況だそうです。

「きらり」が消えれば、この村も消えます。何とかして存続しうる手立てを区民の皆様も一緒に考えてください。

「きらり」が生き残れる道を探る

①徹底した機械化



GPS制御の自動田植え機

ビーグルによる肥料散布

農機は進化し続けています。ポイントを入力すれば、あとは自動で運転してくれる田植機。かつては重い動力噴霧機を背負い、みんなで施肥作業していたのが、ビーグル一台で完了。最新の農機は高価ですが、「きらり」の資金力なら導入可能です。

②圃場の再拡大

昭和50年代から行われた圃場整備事業で、2～3反1枚の整然とした圃場になりました。一反の田を2日がかりで手で植えていた時代から、今では、2反を1時間足らずで植えてしまいます。さらに今、高低差の無い2圃場の畦畔を無くして4～5反一枚にする計画が協議されています。実現すれば、植え付け、刈取の作業短縮ができ、畦畔除草、水管理等の負担も軽減されます。

③省エネ農法の追求

国内各地で省エネ農法が様々に追求されています。

乾いた田んぼに直接種をまく乾田直播もその一つ。育苗・代かき等が不要で人件費が削減できるとのこと。

「きらり」が生き残るためには、こうした新しい農法を積極的に検討していく必要があります。

でも、最終的に必要なのは「人」です

2024.2.18　環境保全隊泥上げ作業

農作業の機械化、省エネ農法の追求、少数精鋭の組織作り等の追求によって、少子高齢化への対応は一定できるでしょう。しかし、どうしても足りないものがあります。「人」です。上記の写真のように、経年劣化の水路保全は、人力が必要です。植え付けの後の田んぼの水管理、畦畔の除草等、機械では行き届かない部分を支える「人」が必要なのです。

「みんなで支える『きらり』の経営」

田んぼの水管理程度なら、70代でも、散歩がてらにできます。収穫した麦をフレコンでカントリーまで運搬するのだって軽トラさえ運転できれば簡単にできます。農業や機械の専門的な技術が無くてできる部分を下之郷の区民で支えることができれば、「きらり」は生き残れます。「区民みんなで支える『きらり』の経営」が実現することを願います。

今年のトマトもおいしいよ！

3月に定植した桃太郎ファイト920本は順調に生育し、5月末から道の駅への出荷も始まりました。

「先がとんがった形」がトレードマークの桃太郎ファイト。今年のトマトもとてもおいしいです。

真っ赤なトマトには栄養がいっぱい。その中でも今とくに注目されているのがリコピン。生活習慣病予防や老化抑制にも効果があるそうです。

ぜひ、きらりのトマトをお買い求めいただき、この夏も元気で過ごしましょう！

きらりスタッフ募集中

きらりのお手伝いをしていただける方、大募集です。日の光を浴び、コミュニケーションを楽しみながら、余暇のひととき、気持ちのいい汗を流してみませんか。

勤務時間　1時間単位・都合のつく範囲でOK！

時　　給　900ポイントから

【問い合わせ先】
企画担当　　上野　芳樹　38－3563